



HOKKAIDO  
BOARD OF  
EDUCATION

令和7年1月27日（月）

# 第3回北海道教員育成協議会

北海道教育庁学校教育局教職員育成課

# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 第2回書面会議について
- 4 道教委の教員育成の取組について
- 5 協議

# 協 議

**育成指標を踏まえた、教員一人一人の資質能力の向上を図るために、どのような取組が求められるか。**

## **【協議の視点】**

- ①養成段階において、大学生が、必要な資質能力を身に付けるためには、教職課程や教育実習はどうあるべきか。
- ②教師を主語にした研修や校内研修の充実を図るためには、どのような取組が必要か。
- ③管理職の資質向上を図るためには、管理職はどのような資質能力を身に付ける必要があるか。
- ④子どもたちや保護者にとって、教員にはどのような資質能力を身に付けてほしいか。

**それぞれのお立場で、視点の中から、ご発言いただける内容について、御意見をお聞かせ願います。**

# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 第2回書面会議について
- 4 道教委の教員育成の取組について
- 5 協議

# 本年度の協議会について

年間テーマ：育成指標を踏まえた、教員一人一人の資質能力の向上を図るために、どのような取組が求められるか

## 第一回

### 【意見】養成段階

- ・魅力啓発だけでは、就職後にギャップを感じてしまうのではないかと
- ・草の根教育実習の受入れでは、魅力以外の学校の様々な面を学生に見てもらおうようにしている

### 【意見】教員研修

- ・教員の課題意識等に応じた校内研修が重要だが、時間の確保が困難
- ・教員同士が子どもの指導について話し合う同僚性のある校内研修が重要
- ・自己診断シートやPlantを有効活用

### 【意見】管理職の資質能力の向上

- ・組織マネジメントやリーダーシップ、学校内外から情報を収集し分析する力などが必要
- ・ミドルリーダーの育成が教頭排出につながる

## 取組

- ・教員確保に向けた魅力啓発を重視しつつ、出前講座等で、育成指標の資質・能力や今求められる教育（ICT活用等）などの内容も重視

- ・「教職員研修に関するアンケート」の実施
- ・校内研修の支援策について検討

- ・新任管理職研修では、従来の講義・協議に加え、本年度から選択研修として道研管理職講座を実施

## 第二回

### 【意見】「教職員研修に関するアンケート」について

- ・教員の主体的な学びをどのように実現するかが重要
- ・教員育成指標、自己診断シートを活用しPlantで必要な研修を受講するという流れが定着しつつある
- ・教員は教科等の専門性の向上、管理職は学校課題を踏まえた研修を重視しており、認識に差がある
- ・ICTや情報・教育データを利活用する力は、教員、管理職ともに重視している

### 【意見】校内研修支援資料について

- ・校内研修の進め方全般の説明
- ・限られた時間で、効果的に実施する校内研修の事例紹介
- ・経験則で得られた知見（暗黙知）を形式知に変換し活用する研修の工夫
- ・学校種に応じた研修モデル資料の作成が有効
- ・Plantを活用した実践事例を紹介

## 取組

- ・各学校における今後の人材育成等に活用できるよう本年度中にアンケート結果を還元予定
- ・「育成指標活用ガイド」、「自己診断シート」等にPlantの活用に係る説明を加えた改訂版を作成・周知予定

- ・校内研修資料の内容案の検討
- ・小・中・高・特の校種別校内研修事例の収集
- ・本年度中に完成、周知予定

## 第三回

【今回】 第2回書面会議でいただいた意見、道教委の取組等について協議  
→次年度の教員育成に関する取組につなげます。

# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 第2回書面会議について
- 4 道教委の教員育成の取組について
- 5 協議

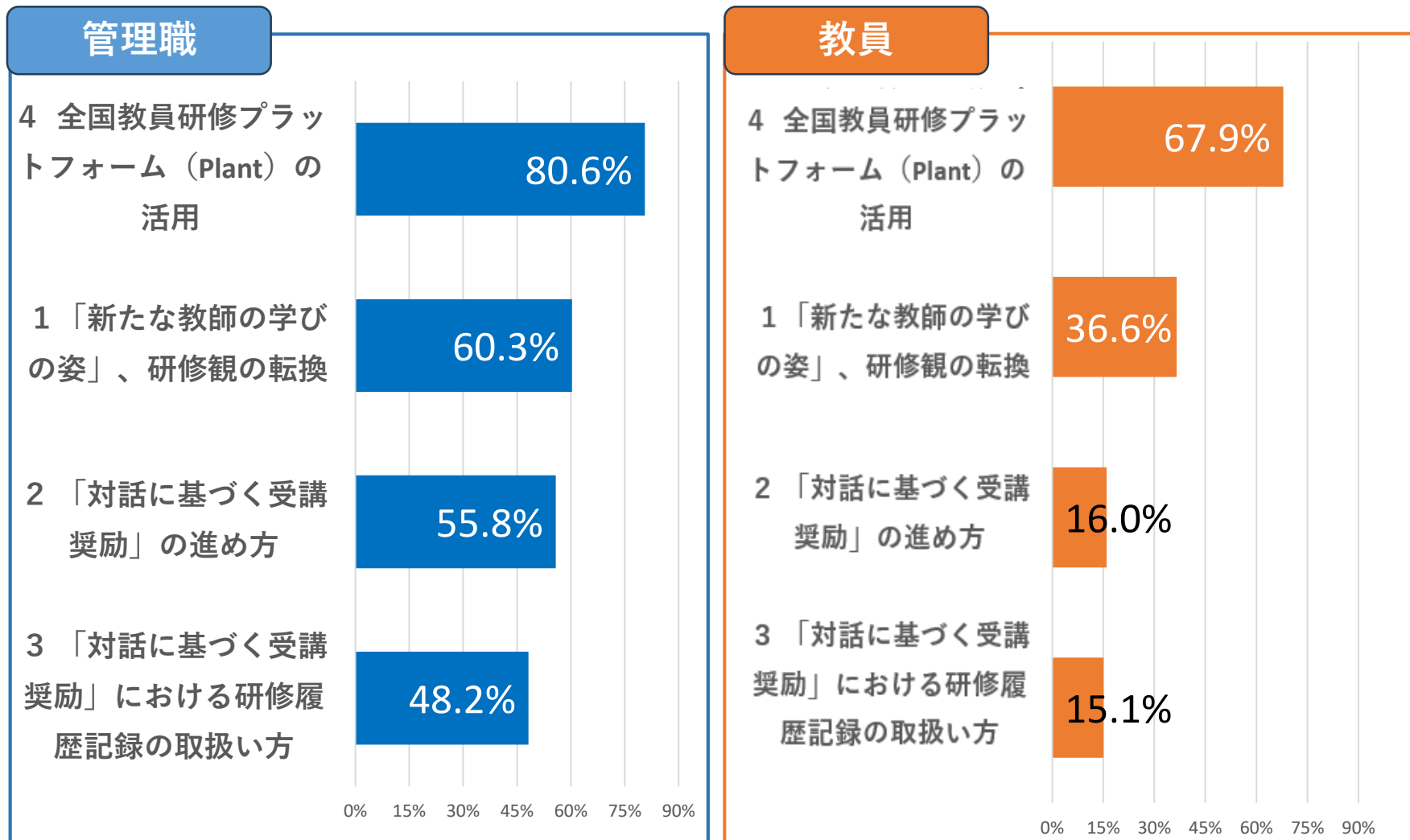
# 「教職員研修に関するアンケート」の結果について

## 経緯

- 令和4年度まで
  - ・道教委が、実施（対象：各校長会の理事など）
- 令和5年度
  - ・北海道教育大学が道教委及び札幌市教委と連携して実施（対象：全公立小・中・義・高・中等・特の管理職及び教員）
- **令和6年度**
  - ・**道教委が、実施（対象：全公立小・中・義・高・中等・特の管理職及び教員）**

# 「新たな研修制度」に係る認識

「新たな研修制度」 2年目に当たり、共通理解が進んでいること

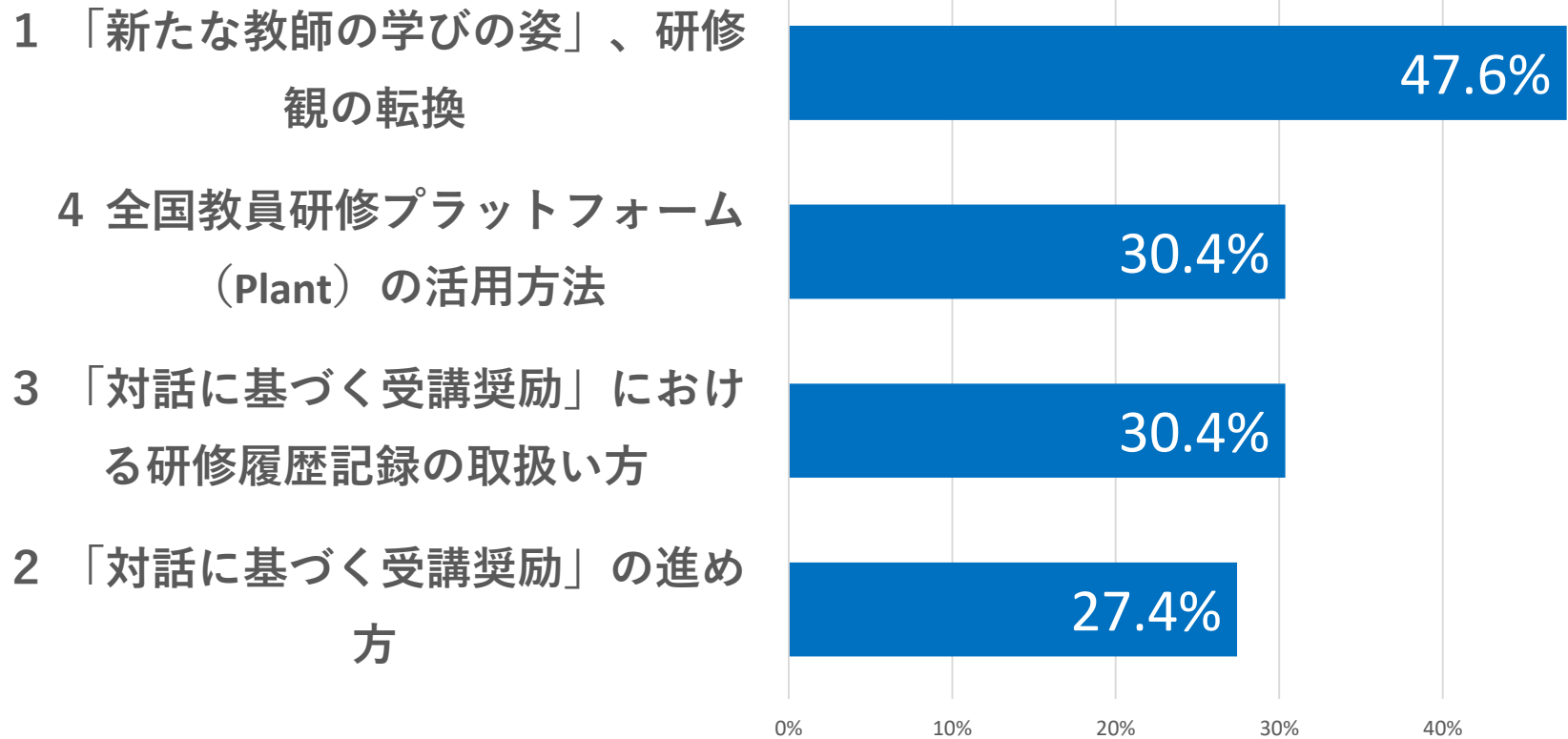




# 「新たな研修制度」に係る認識

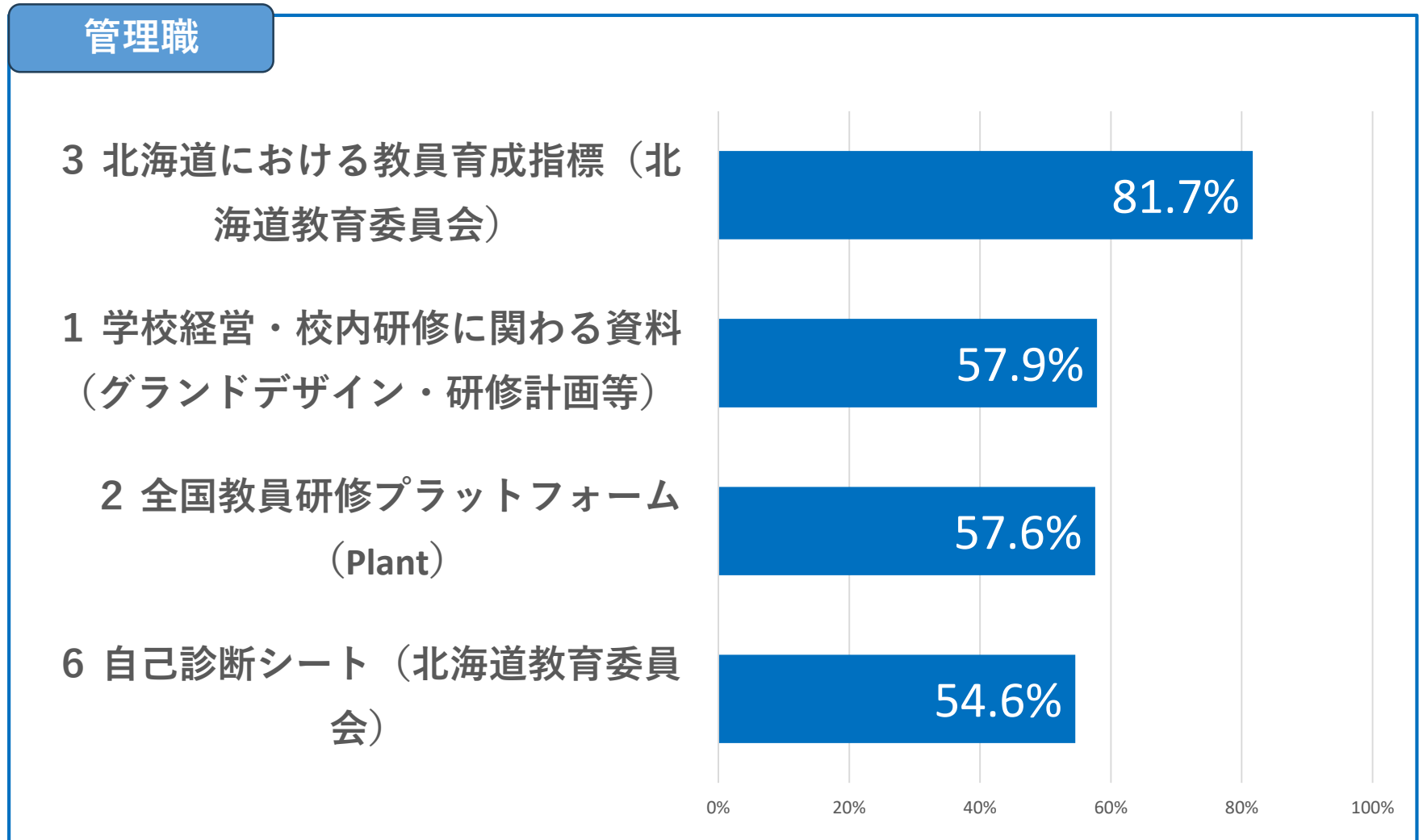
所属職員への周知・啓発、学校全体の共通理解が難しいこと

## 管理職



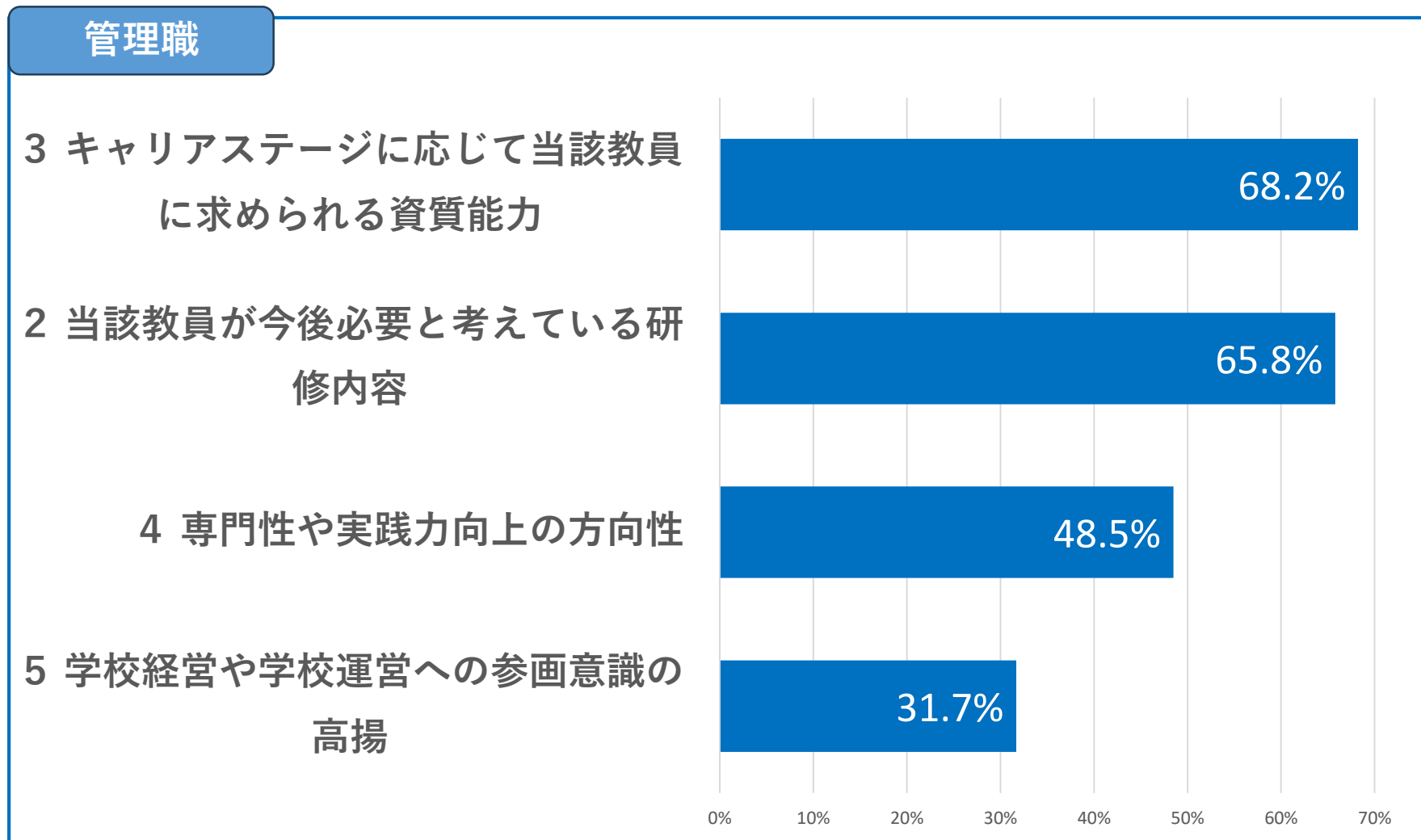
# 「新たな研修制度」に係る認識

受講奨励（対話）で活用する資料



# 「新たな研修制度」に係る認識

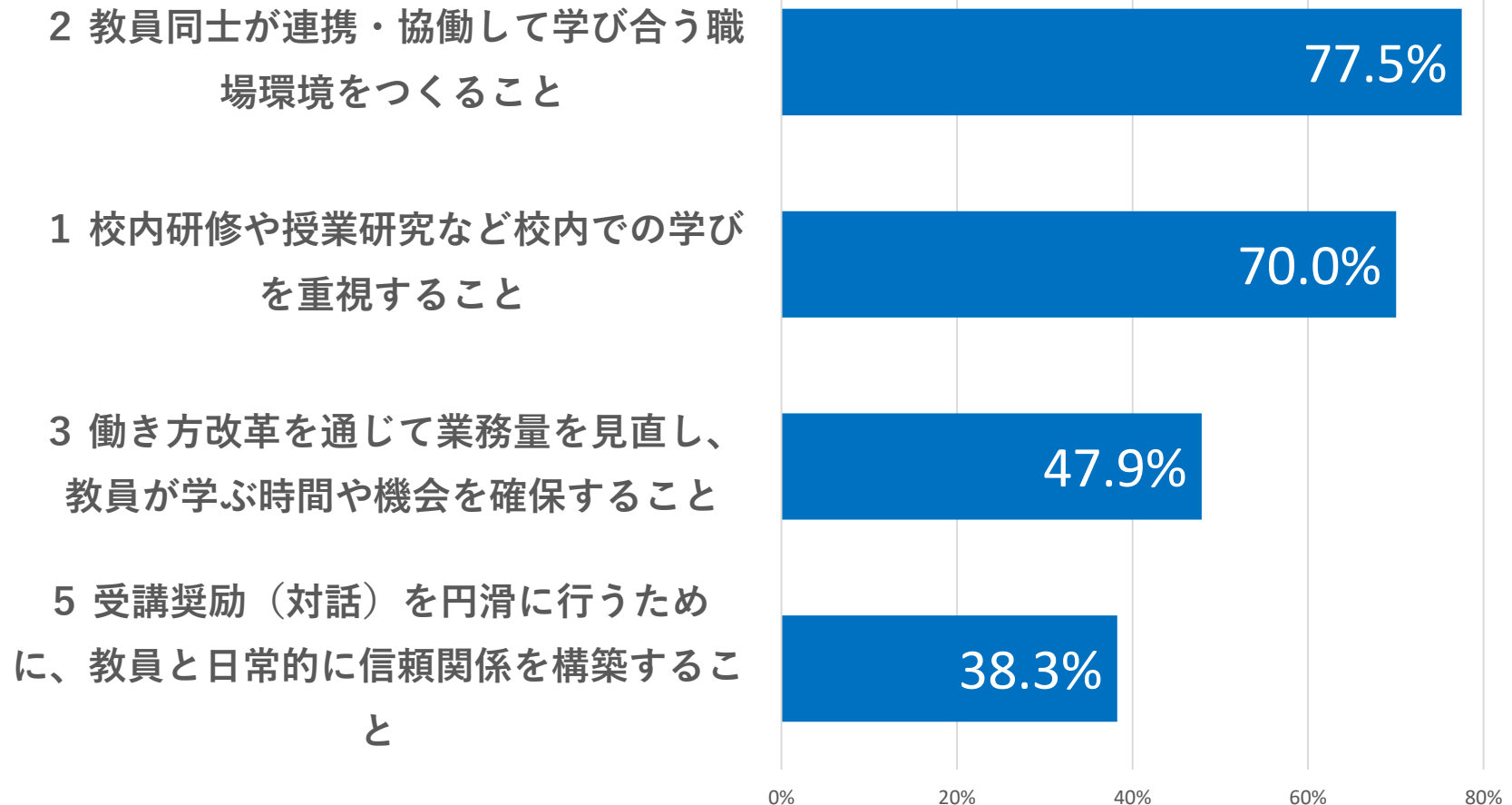
受講奨励（対話）において、時間をかけている内容



# 「新たな研修制度」に係る認識

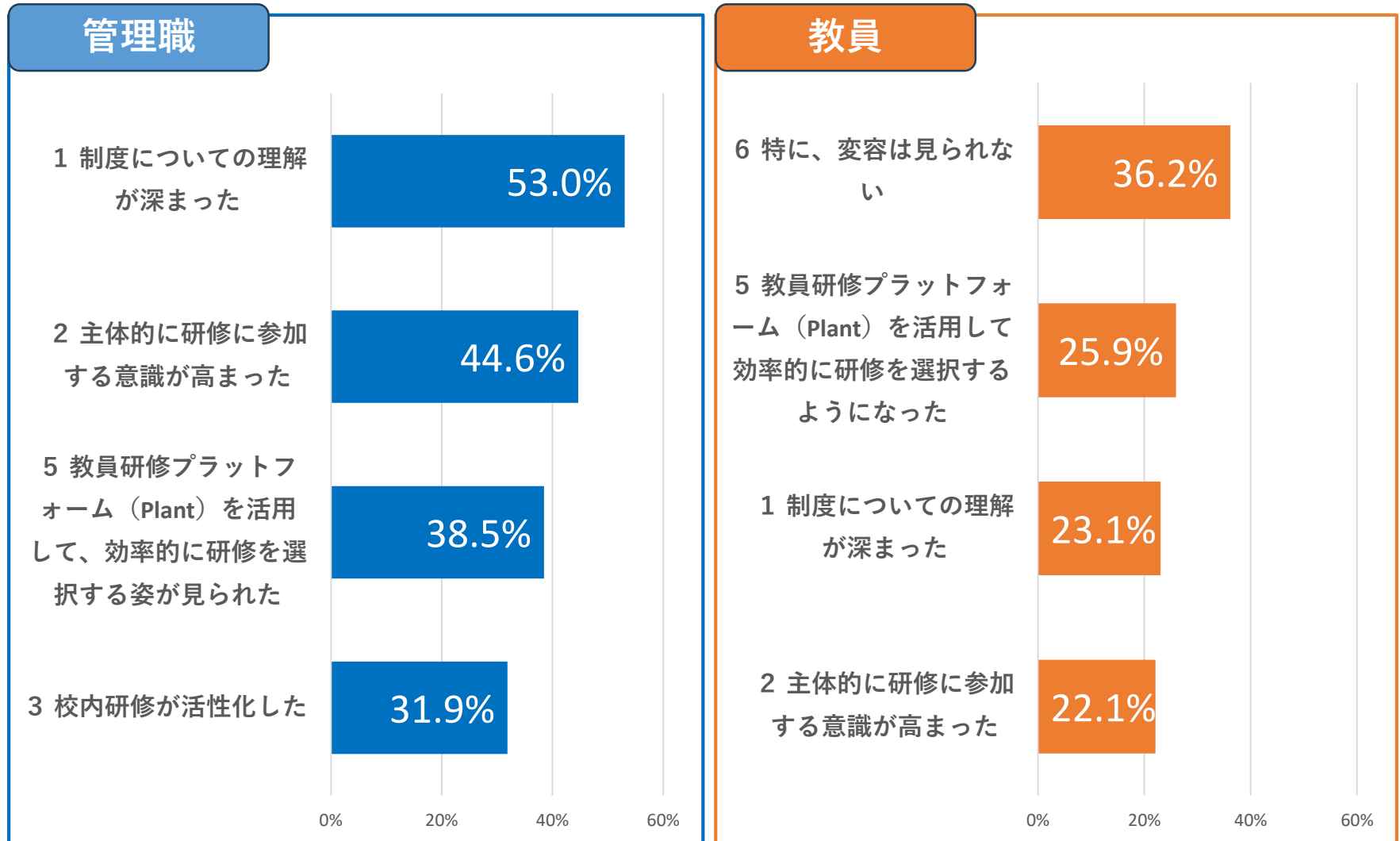
「新たな教師の学びの姿」を実現するために重視していること

## 管理職



# 「新たな研修制度」に係る認識

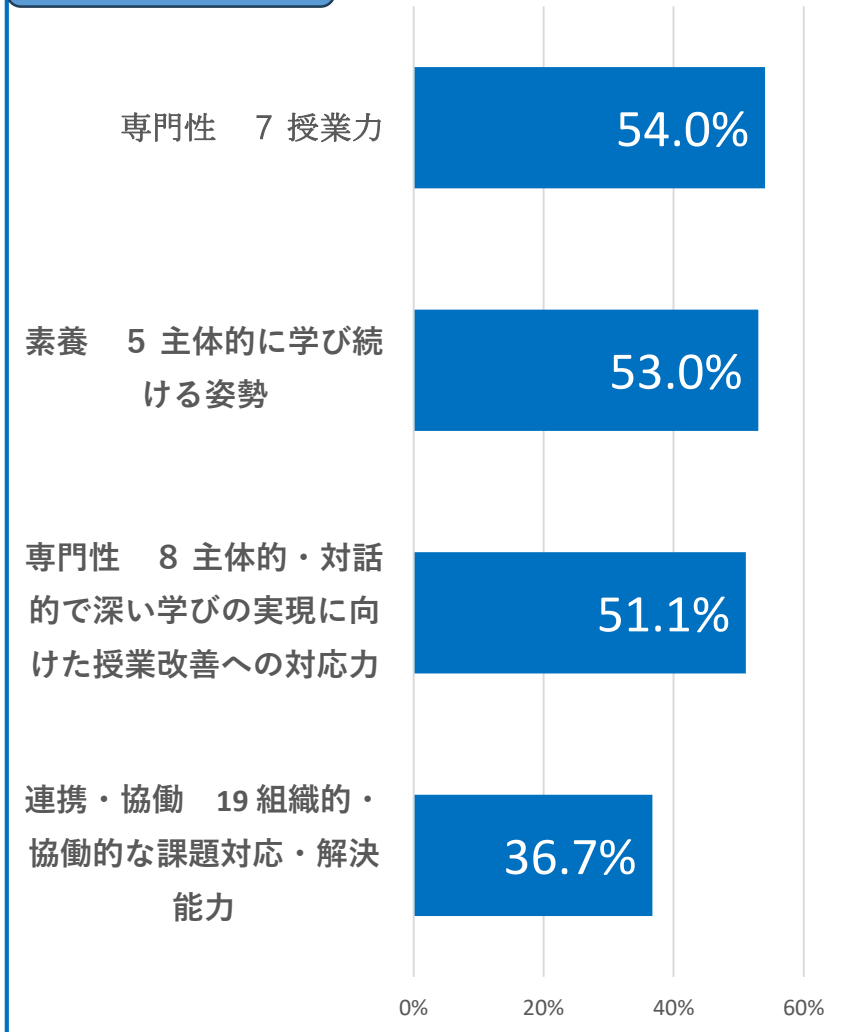
実施初年度と比較して、見られた変容



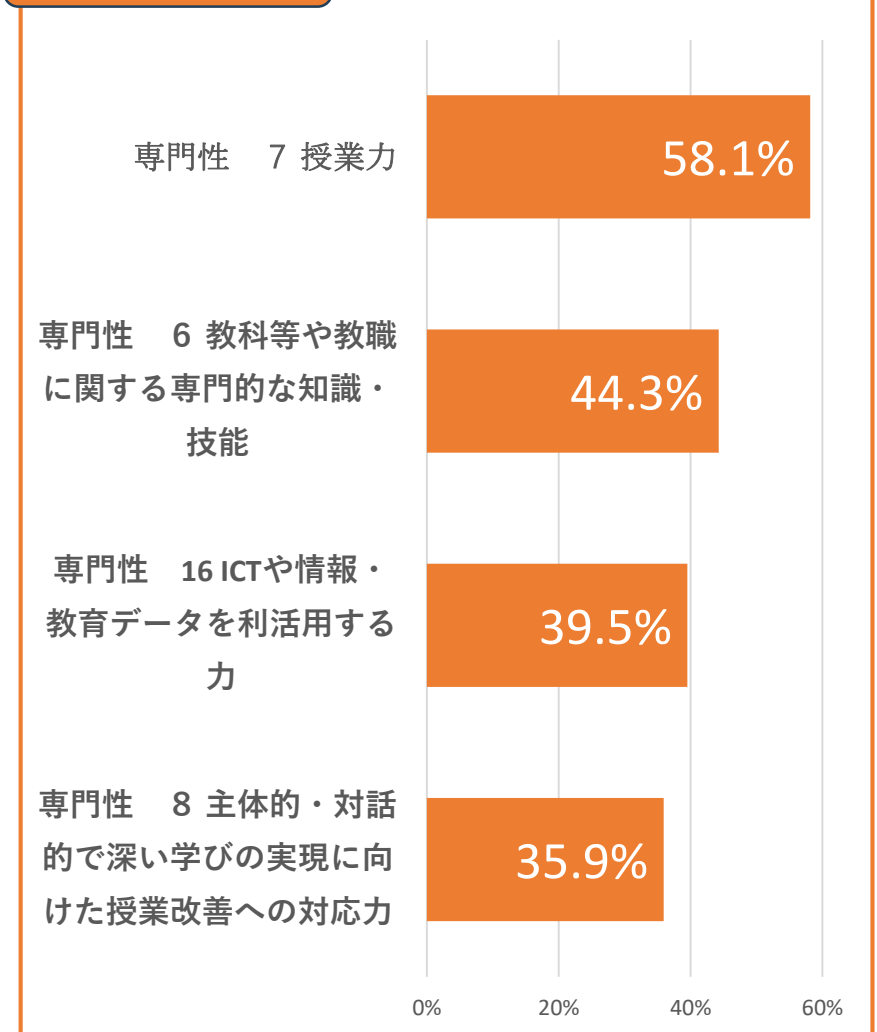
# 「新たな研修制度」に係る認識

今後、高めてほしい（たい）資質能力

## 管理職



## 教員



# 「新たな研修制度」に係る認識

重視している学びの機会

教員

1 日常の教育実践や校務

73.3%

2 自校の校内研修

47.8%

7 書籍

31.0%

4 研究団体等が主催する  
研修

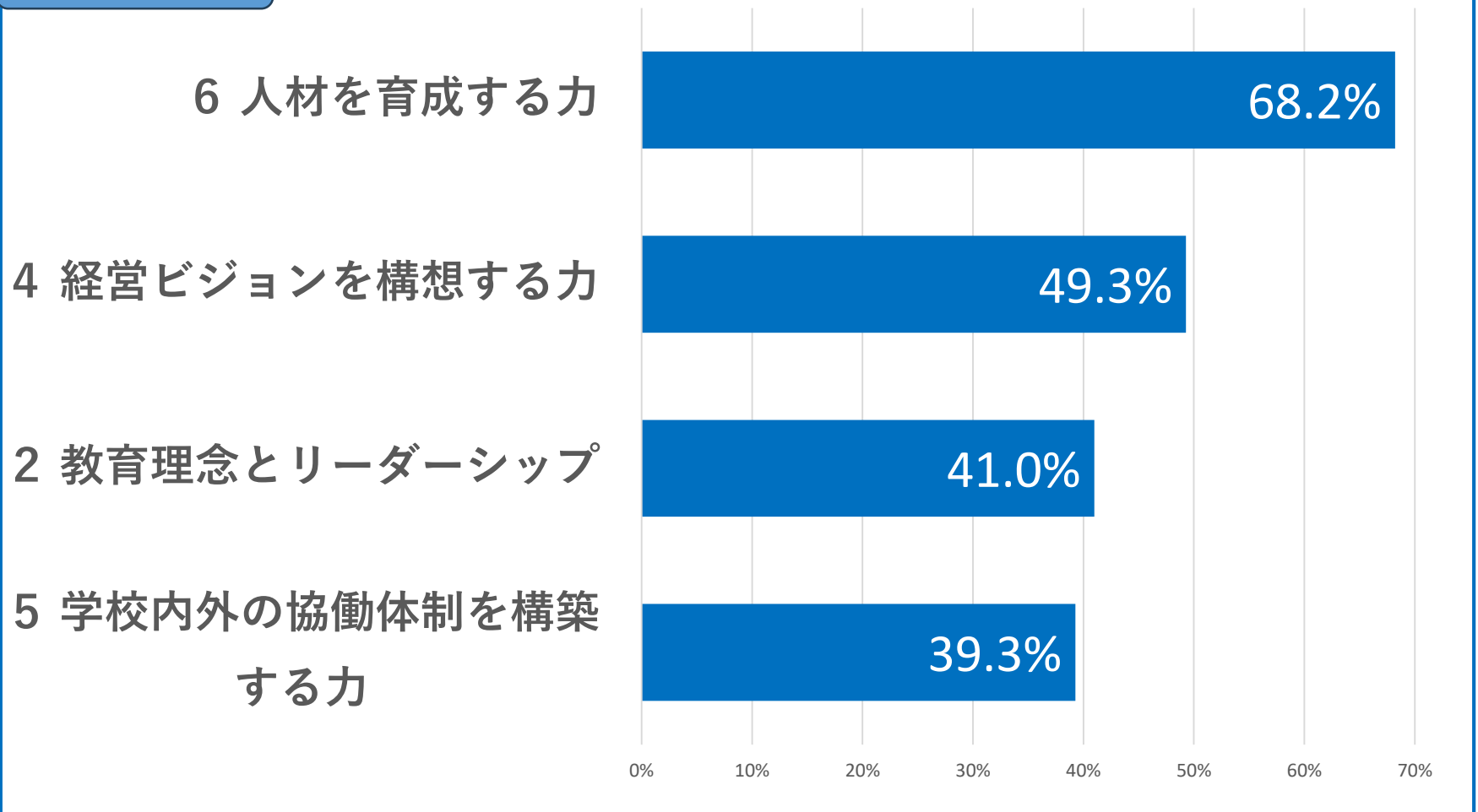
28.7%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%

# 「新たな研修制度」に係る認識

管理職として今後高めたい資質能力

## 管理職

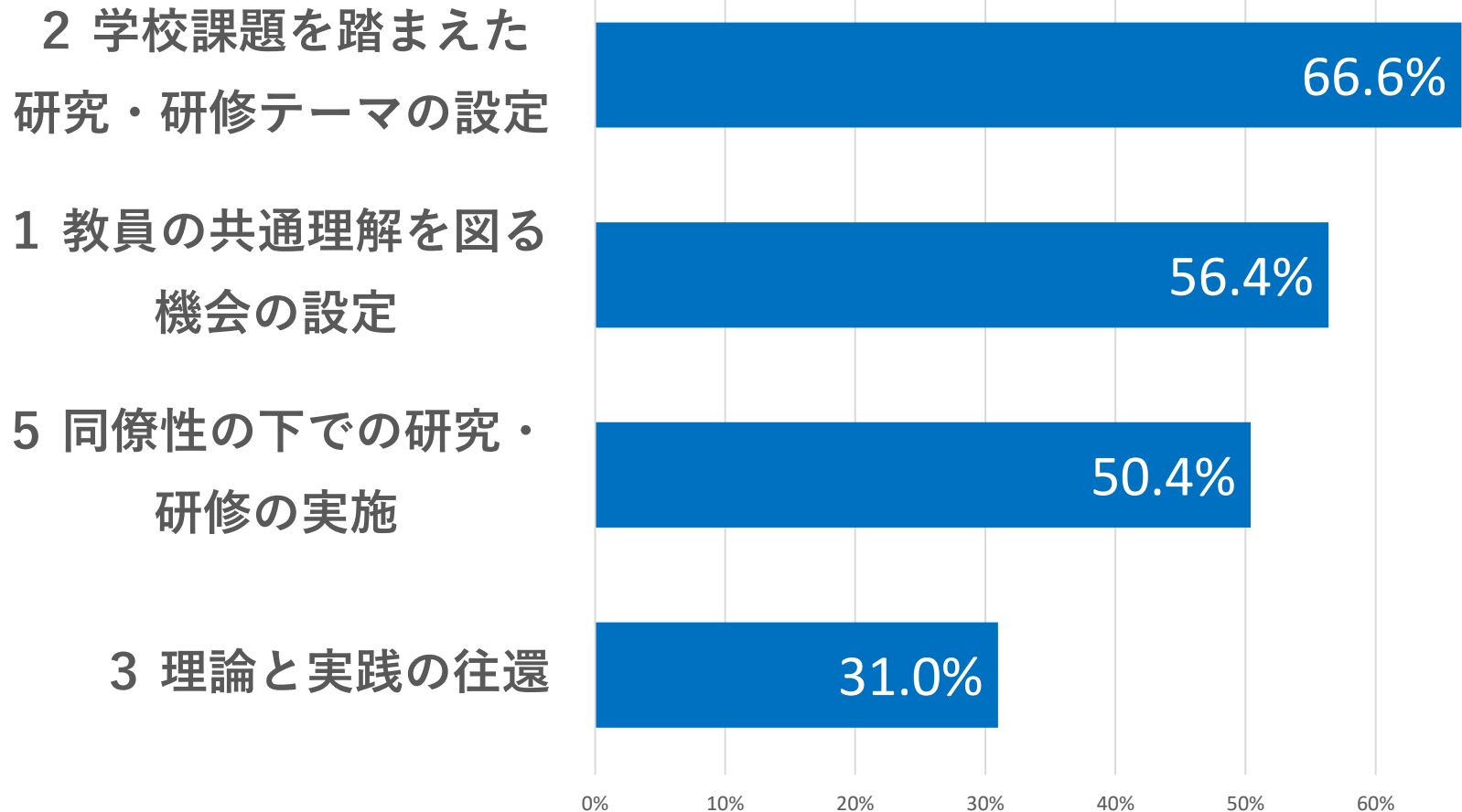




# 「新たな研修制度」に係る認識

校内研修活性化に向けた取組

## 管理職



# 「新たな研修制度」に係る認識

校内研修の活性化を図る工夫

1,465件の工夫が寄せられました

- 【テーマ】
  - ・ 学校課題
  - ・ 今日的な課題
  - ・ 実践的な内容
  - ・ 個人の希望する課題
- 【方法】
  - ・ 研修主事・担当、ミドルリーダーによる推進
  - ・ 全職員の共通理解を基にした推進
  - ・ 外部講師の活用
  - ・ ICTの活用
  - ・ 1人1実践
  - ・ 短時間のミニ研修
  - ・ 研修日以外の日常的な学び合い
- 【環境】
  - ・ 時間の確保（研修日に会議、部活動を入れない。日課を調整する。職員会議を短時間で実施し、会議後に研修を実施）
  - ・ 協働的な雰囲気醸成（日常的な対話、全員が話しやすい小グループの協議、ICT（チャット等）を活用した意見交換）

# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 **第2回書面会議について**
- 4 道教委の教員育成の取組について
- 5 協議

# 第2回書面会議について

## 「教職員研修に関するアンケート結果について」

### 委員の皆様から

- **教員育成指標**、**自己診断シート**を活用した面談を経て自己の状況を把握し、**Plant**にて必要な研修を受講するという流れが定着しつつある。
- **教師は教科等の専門性**を求めているが、**管理職**は自校で取り組む校内研修は「**学校課題を踏まえた研究・研修**テーマの設定」や「教員の共通理解を図る機会の設定や同僚性の下での研究・研修の実施」を重視している。
- 「授業力の向上・授業改善」や「教科等の専門性向上」、「日常実践」「校内研修」を学びの機会として挙げていることから、**授業に直結する研修**が主体的な教師の学びにつながるのではないか。

# 第2回書面会議について

## 「教職員研修に関するアンケート結果について」

### 委員の皆様から

- ・ 形式知につながる協議をすることで教師同士が助言し合う機会が生まれ、同僚性の高まりが期待できるのではないか。
- ・ 今後、教員が主体的・計画的に自己研鑽を積んでいくことができるか検証が必要である。
- ・ 「ICTや情報・教育データを活用する力」が重視されているので、養成段階でもカリキュラム改善に努めたい。
- ・ 校内研修の充実を図るためには、研修を実施する時間の確保が大きな課題。
- ・ 教職員研修に関するアンケートに幼児教育関係者が含まれることを期待する。

# 第2回書面会議について

## 校内研修支援資料について

### 委員の皆様から

- ・ コロナ禍のため公開研等が実施できず継承されにくかった、校内研修の進め方全般、例えば、共通のテーマの設定方法、授業研究の在り方などの基本的な方法論などの紹介
- ・ 限られた時間で、効果的な校内研修を行っている事例の紹介
- ・ 「日々の授業」という経験則で得られた知見（暗黙知）を形式知に変換し活用する研修の工夫
- ・ オンラインの活用も含め、外部からの指導助言があれば、具体的な見通しがもてる可能性はあると考える。

# 第2回書面会議について

## 校内研修支援資料について

### 委員の皆様から

- 学校種に応じた研修モデルを資料として作成することが有効
- 学校組織が、新任教師を「即戦力」となる「教員」として待ち受けるのではなく、学び続ける「専門職としての教師」＝「同僚」として、おおいに歓迎する意識が、「同僚性」を形作ることとなる。
- Plantの活用事例

# 第2回書面会議について

## 今後の方向性

- ・引き続き「北海道教職員研修計画」において、「新たな教師の学びの姿」を実現するための基本方針を掲げ、研修内容等の充実を図る。
- ・新たな研修制度の理解が教職員の変容につながるよう、教員育成指標、自己診断シート、Plantを連動させた受講奨励の充実に向け、継続して働きかけを行う。
- ・学校課題や日常の教育実践につながる校内研修の活性化に向けた校内研修支援資料を作成し、研修環境の整備などを含めた事例等を提供する。
- ・養成段階の学生が学校現場の実態を理解することができるよう、現場体験を重視した事業の充実を図る。



# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 第2回書面会議について
- 4 **道教委の教員育成の取組について**
- 5 協議

# 教員養成大学への出前講座

## 【養成段階】



R 5 13大学 18回

R 6 16大学 30回

## 〔本講座の活用場面〕

- ・ 教職実践演習など、教職課程の科目
- ・ 学内の教員採用選考検査説明会など、課外の実践
- ・ 教員のFD活動
- ・ オープンキャンパスなど、大学の魅力啓発の実践

## 〔説明内容〕

- ① 求める教員像、教員育成指標 等
- ② 教職の魅力
- ③ 教員業務の実際
- ④ 選考検査の概要
- ⑤ 大学生を対象とした道教委の実践（草の根教育実習、教志ゼミ 等）
- ⑥ 教員の給与、福利厚生、勤務時間・休暇 等
- ⑦ その他（御要望のあった内容）

# 草の根教育実習

## 【養成段階】



R 5 18大学 **184名**

R 6 20大学 **287名**

## 〔体験内容〕

### 【授業体験や子どもたちとの交流】

- ・ 授業の参観や指導体験
- ・ 特別な配慮を必要とする児童生徒への支援
- ・ 放課後学習会の指導補助
- ・ クラブ活動、部活動の指導補助

### 【先生たちとの対話】

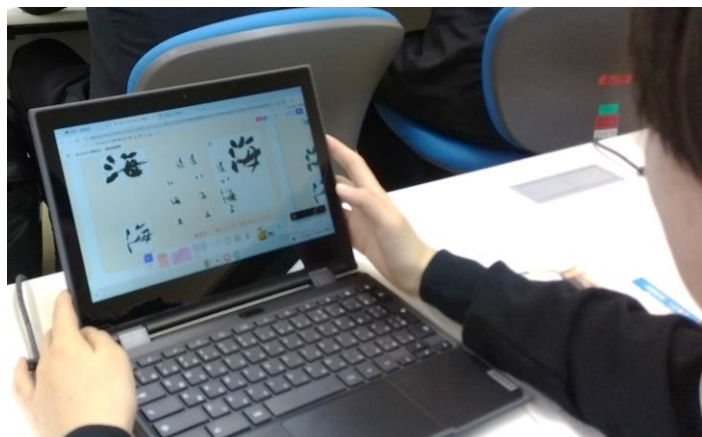
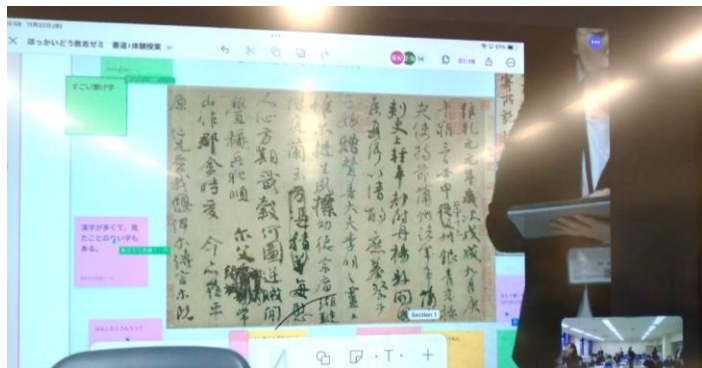
- ・ 校内研修、職員会議への参加
- ・ 学級担任事務の体験
- ・ 若手教員との座談会

### 【地域との連携・交流】

- ・ 地域の特色ある行事への参加
- ・ 地域内の教育関係施設見学
- ・ 教育委員会職員との座談会

# 教師ゼミ

## 【養成段階】



## 〔実施内容〕 遠隔学習会

- ① ICTを活用した学校の1日を知る
- ② 自身の目指す教員像を考え、考えの実現に必要なことや大学での学びについて、他大学の学生と交流する

## 体験学習会

- ① T-base（北海道高等学校遠隔授業配信センター：有朋高校内）を活用した遠隔授業の魅力を経験
- ② 科学の不思議を体感
- ③ 1人1台端末を活用した授業を経験

R 5 試行実施 **19名**

R 6 石狩管内 **77名**

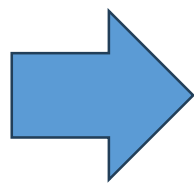
T-baseから配信する書道の授業を経験



# 各種サポートツール

研修受講や学びの機会の検索について

「研修Linkナビ」



「全国教員研修プラットフォーム」  
Plantに完全移行



Plantの活用を新たに掲載し、改訂版を作成

「育成指標活用ガイド」

北海道における  
教員育成指標 活用ガイド

## 自分を とらえ 高める

教員が育つために大切なことは、目標をもって学び続けること

- 教員としての基礎を身につけたい 新任教員の先生
- 専攻力や領域異動 移行力を高めたい 経験者の先生
- 学校の中間として 学びや学びを 引き継ぎたい 元副校長の先生
- 自分の専門性や 専攻を活かして 学校を変えたい 元校長の先生

それぞれのキャリア・ステージに応じた学びを届け、深めるために

- Guide1 教員育成指標を「知る」
- Guide2 教員育成指標を基に、自分自身を「とらえる」
- Guide3 教員育成指標を振り返り所に、自分自身を「高める」

北海道教育委員会

「受講奨励の手引き」

## 校長による教員等との対話に基づく受講奨励の手引

道教委では、各学校における「校長による教員等への『対話に基づく受講奨励』」の参考にしていただくため、道内の学校における人材育成の取組の成果を基に、受講奨励のポイントを取りまとめ、本手引を作成しました。対話に基づく受講奨励や校内研修等において、本手引を活用し、教員等の主体性を尊重した個別最適な学び・協働的な学びの充実に向けた取組を推進してください。

- Point 1 学校全体で、「教員としての学びの姿」や「対話に基づく受講奨励」の目的について、共通理解を図りましょう。 P 1
- Point 2 受講奨励は、校長を責任者とし、学校の状況に応じて、役割を分担しながら組織的にいきましょう。 P 1
- Point 3 受講奨励は、実施時期や活用する資料を工夫して、効果的・効率的に行いましょう。 P 2
- Point 4 校長と教員等が、対話におけるそれぞれの視点を理解し、対話の効果を高めましょう。 P 3
- 実践例 「学びのPDCAサイクル」を確立するために、道教委のサポートツールを活用していきましょう。 P 4
- Q & A 新たな教員の学びの姿 新たな研修制度 ・対話に基づく受講奨励 等 P 5

北海道教育委員会

「自己診断シート」

## 学び続ける教師を支える 自己診断シート

このシートは、自らの教師としての資質能力を振り返り、目標の設定やその実現に向けた学びの見直しをもつことができるサポートツールです。子どもたち一人一人の可能性を引き出すために学び続ける教師を目指し、校内研修や自己研鑽の機会でごシートを活用してください。

### 自己診断シートの使い方

- ① 入力シートで自己診断をします。

項目	1	2	3	4
1. 教員としての基礎を身につけたい	2	3	4	5
2. 専攻力や領域異動 移行力を高めたい	3	4	5	6
3. 学校の中間として 学びや学びを 引き継ぎたい	4	5	6	7
4. 自分の専門性や 専攻を活かして 学校を変えたい	5	6	7	8

各教員が育成指標の「期待される具体的な姿」ごとに、1～4の4段階で自己評価をします。
- ② 分析シートで自己分析をして、今後の学びの見直しをもちます。

項目	1	2	3	4
1. 教員としての基礎を身につけたい	2	3	4	5
2. 専攻力や領域異動 移行力を高めたい	3	4	5	6
3. 学校の中間として 学びや学びを 引き継ぎたい	4	5	6	7
4. 自分の専門性や 専攻を活かして 学校を変えたい	5	6	7	8

入力シートに数値を入力すると、自動的にレーダーチャートに示され、自己診断結果が可視化されます。レーダーチャートの結果を基に、自身の強みや弱み、その原因などについて、自己分析に整理します。自己分析結果や日常実践の振り返りを踏まえて校長との面談を行い、校長から受けたアドバイスなどを整理します。自己診断結果やアドバイスを踏まえ、自身が向上を目指したい資質能力を明確にします。

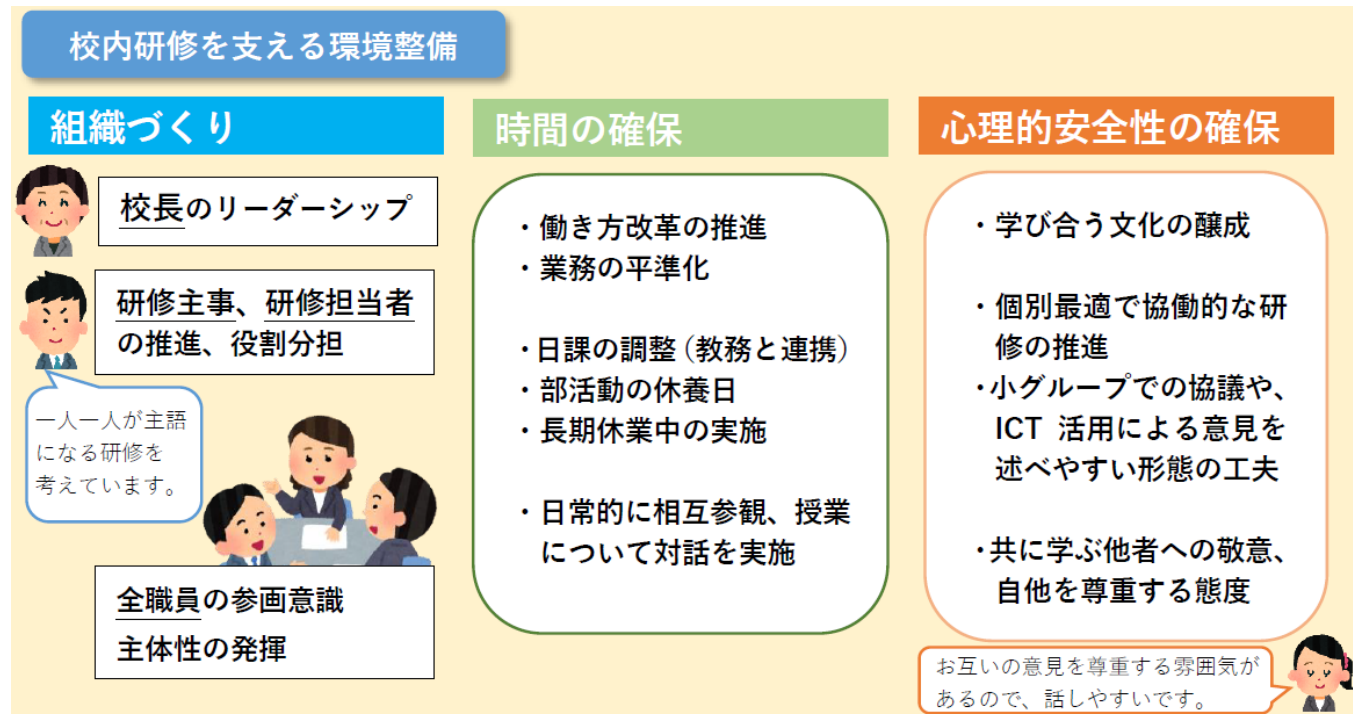
北海道教育委員会

# 校内研修支援資料

## 掲載内容（案）

- 1 「新たな教師の学びの姿」について
- 2 校内研修の進め方、教師の探究的な学び（学びの相似形）
- 3 校内研修を支える環境整備（組織、時間、心理的安全性）
- 4 アンケート結果から（校内研修活性化に向けた取組）
- 5 小・中・高・特の校内研修事例（取材中）

## 【作成原稿 （参考）】



# 令和7年度の教職員研修計画

## 重点

主体的・個別最適・協働的な学びの充実に向けた研修目標・内容・方法の改善・充実

- ・ 受講者が自らの実践を振り返って意味付けたり、**他者との対話を通して自己の在り方を発見**したり、問い直したりすることを通じて、**豊かな気付きや変化**が生まれるようにすることを重視

自らの日々の経験や他者から学ぶといった「現場の経験」を重視した学びに資する校内研修の支援

- ・ 校内研修支援資料において、日常の実践を重視した校内研修について各校種の事例等を紹介

# 協 議

**育成指標を踏まえた、教員一人一人の資質能力の向上を図るために、どのような取組が求められるか。**

## **【協議の視点】**

- ①養成段階において、大学生が、必要な資質能力を身に付けるためには、教職課程や教育実習はどうあるべきか。
- ②教師を主語にした研修や校内研修の充実を図るためには、どのような取組が必要か。
- ③管理職の資質向上を図るためには、管理職はどのような資質能力を身に付ける必要があるか。
- ④子どもたちや保護者にとって、教員にはどのような資質能力を身に付けてほしいか。

**それぞれのお立場で、視点の中から、ご発言いただける内容について、御意見をお聞かせ願います。**



# 北海道教員育成協議会

- 1 本年度の育成協議会について
- 2 「教職員研修に関するアンケート」の結果について
- 3 第2回書面会議について
- 4 道教委の教員育成の取組について
- 5 協議